

2018年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月10日
東

上場会社名 サカティンクス株式会社 上場取引所
 コード番号 4633 URL <http://www.inx.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 森田 耕太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 菅原 大輔 (TEL) 06-6447-5823
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 2018年9月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト等向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2018年12月期第2四半期の連結業績(2018年1月1日~2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第2四半期	78,938	2.2	2,680	△41.2	3,540	△40.2	2,609	△43.6
2017年12月期第2四半期	77,272	2.6	4,558	△7.9	5,923	△1.3	4,630	12.4

(注) 包括利益 2018年12月期第2四半期 106百万円(△97.2%) 2017年12月期第2四半期 3,800百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第2四半期	44.68	—
2017年12月期第2四半期	78.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年12月期第2四半期	145,382	77,624	51.4	1,279.24
2017年12月期	145,489	78,766	52.0	1,295.39

(参考) 自己資本 2018年12月期第2四半期 74,706百万円 2017年12月期 75,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期	—	14.00	—	16.00	30.00
2018年12月期	—	15.00	—	—	—
2018年12月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年12月期の連結業績予想(2018年1月1日~2018年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	164,500	4.6	7,500	△12.5	9,500	△15.6	6,600	△21.3	113.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年12月期2Q	62,601,161株	2017年12月期	62,601,161株
② 期末自己株式数	2018年12月期2Q	4,201,632株	2017年12月期	4,201,482株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2018年12月期2Q	58,399,579株	2017年12月期2Q	59,002,150株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
 なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 四半期決算補足説明資料は、T D n e tで本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
3. その他	11
主要な設備の計画	11

※ 当社は、以下の通り投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

・2018年9月3日(月)・・・機関投資家・証券アナリスト等向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、通商問題の動向などが懸念されるものの、米国は景気の拡大が続き、欧州も緩やかな景気の回復が続きました。アジアにおいては、中国で持ち直しの動きが続くなど、全体として回復基調が続きました。日本経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復を続けているものの、海外経済の不確実性などが懸念される状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループはコア事業である印刷インキ事業において、アジアを中心とした各拠点での拡販に注力するとともに、環境に配慮した安全・省エネ志向製品や顧客ニーズに応じた地域密着型製品の開発、TPM活動の深化による生産性向上などに取り組みました。また、印刷インキ全般の主要原材料価格がグループ全体で上昇していることから、継続課題として、更なるコスト削減を推し進めるとともに、企業努力で吸収できる限界を超える部分については販売価格の改定を打ち出し、利益改善に向けて取り組みました。一方、機能性材料事業では、インクジェットインキをはじめとして、トナー、カラーフィルター用顔料分散液などの開発・拡販に取り組みました。

売上高は、円高による為替換算の影響を受けたものの、アジア及び北米でパッケージ関連の印刷インキの拡販が進み、機能性材料も概ね好調であったことなどから、789億3千8百万円（前年同期比2.2%増加）となりました。

利益面では、印刷インキ事業において、販売数量は増加したものの、原材料高が一段と進んだことなどから、営業利益は26億8千万円（前年同期比41.2%減少）、経常利益は35億4千万円（前年同期比40.2%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億9百万円（前年同期比43.6%減少）となりました。

(参考) USドルの期中平均為替レート

	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第2四半期 連結累計期間
2018年12月期	108.30 円	109.07 円	108.68 円
2017年12月期	113.64 円	111.09 円	112.37 円

(注) 第2四半期連結累計期間の期中平均為替レートは、1月～6月の単純平均レートを記載しております。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(単位：百万円)

	売上高					営業利益又は営業損失(△)		
	前期	当期	増減額	増減率	(※)実質	前期	当期	増減額
印刷インキ・ 機材(日本)	27,294	26,422	△871	△3.2%	△3.2%	1,210	356	△854
印刷インキ (アジア)	14,525	15,499	973	6.7%	8.7%	1,111	699	△412
印刷インキ (北米)	21,697	22,114	416	1.9%	5.4%	1,010	625	△385
印刷インキ (欧州)	4,397	4,656	259	5.9%	△0.9%	142	△215	△358
機能性材料	5,373	5,987	613	11.4%	10.2%	598	702	103
報告セグメント計	73,288	74,680	1,391	1.9%	2.8%	4,073	2,168	△1,905
その他	7,727	8,106	379	4.9%	4.9%	186	176	△9
調整額	△3,743	△3,848	△105	—	—	298	335	36
合計	77,272	78,938	1,665	2.2%	3.0%	4,558	2,680	△1,878

(※) 実質増減率：海外連結子会社の為替換算の影響を除いた増減率

①印刷インキ・機材（日本）

パッケージ関連では、グラビアインキは比較的堅調に推移したものの、フレキシインキは天候不順などの影響を受けて前年同期を下回りました。印刷情報関連では、需要減の影響を受けて、新聞インキ、オフセットインキともに前年同期を下回りました。以上のことから、印刷インキ全体では前年同期を下回りました。機材につきましては、印刷製版用材料、印刷製版関連機器ともに低調であったことから、前年同期を下回りました。これらの結果、売上高は264億2千2百万円（前年同期比3.2%減少）となりました。

利益面では、印刷情報関連の印刷インキ及び機材販売が低調に推移したことに加え、原材料高の影響を大きく受け、パッケージ関連においては販売価格の改定も遅れたことなどから、営業利益は3億5千6百万円（前年同期比70.6%減少）となりました。

②印刷インキ（アジア）

主力であるパッケージ関連のグラビアインキは、インドネシア、インド、ベトナムを中心に拡販が進みました。印刷情報関連では、オフセットインキ及び新聞インキの拡販が進みました。売上高は、円高による為替換算の影響を受けたものの、販売数量が増加したことなどから、154億9千9百万円（前年同期比6.7%増加）となりました。

利益面では、販売数量の増加が寄与したものの、販売価格の改定効果が第2四半期では一部に留まり、原材料高の影響を大きく受けたことなどから、営業利益は6億9千9百万円（前年同期比37.1%減少）となりました。

③印刷インキ（北米）

主力のパッケージ関連では、需要増加を背景として、高機能インキの拡販に向けた取組みが奏功し、フレキシインキ、グラビアインキ及びメタルインキが全般的に好調に推移しました。印刷情報関連であるオフセットインキは、UVインキが堅調であったものの、市場縮小の影響を受けて、全体としては低調に推移しました。売上高は、円高による為替換算の影響を受けたものの、販売数量が順調に増加したことなどから、221億1千4百万円（前年同期比1.9%増加）となりました。

利益面では、販売数量の増加が寄与したものの、原材料高の影響や競争激化による利益率の低下などにより、営業利益は6億2千5百万円（前年同期比38.1%減少）となりました。

④印刷インキ（欧州）

パッケージ関連を中心として拡販に取り組んだ結果、第2四半期に入り販売が上向いてきました。売上高は、現地通貨高・円安による為替換算の影響を受けたことなどから、46億5千6百万円（前年同期比5.9%増加）となりました。

利益面では、原材料高の影響や競争激化による利益率の低下などが響き、2億1千5百万円の営業損失（前年同期は1億4千2百万円の営業利益）となりました。

⑤機能性材料

インクジェットインキ及びカラーフィルター用顔料分散液は販売が堅調に推移し、前年同期を上回りました。トナーは、第2四半期に販売を伸ばし、前年同期を上回りました。これらの結果、売上高は59億8千7百万円（前年同期比11.4%増加）となりました。

利益面では、全般的な販売数量の増加が寄与したことなどから、営業利益は7億2百万円（前年同期比17.3%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明**①資産、負債及び純資産の状況**

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権、たな卸資産及び有形固定資産が増加したものの、現金及び預金、投資有価証券が減少したことに加え、円高による為替換算の影響を受けたことなどから、前連結会計年度末比1億6百万円(0.1%)減少の1,453億8千2百万円となりました。

負債は、円高による為替換算の影響を受けたものの、仕入債務や借入金が増加したことなどから、前連結会計年度末比10億3千5百万円(1.6%)増加の677億5千8百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加したものの、その他の包括利益累計額が減少したことなどから、前連結会計年度末比11億4千2百万円(1.4%)減少の776億2千4百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産や売上債権の増加、法人税等の支払があったものの、税金等調整前四半期純利益、仕入債務の増加、減価償却費などにより、9億1千6百万円の資金の増加となり、前年同四半期連結累計期間に比べ18億1千1百万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより、35億4千9百万円の資金の減少となり、前年同四半期連結累計期間に比べ29億7千4百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金が増加したものの、配当金の支払などにより、4億1千1百万円の資金の減少となり、前年同四半期連結累計期間に比べ51億9千4百万円の増加となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は60億6千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億8千5百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年2月14日に公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

当第2四半期連結累計期間の業績は、日本の印刷情報関連が低調に推移したものの、印刷インキの拡販が海外で進み、機能性材料も概ね好調であったことから実質ベースでは当初予想並みとなりましたが、円高による為替換算の影響を受けたことから、売上高は当初予想を下回りました。利益につきましては、原材料高が想定を上回り一段と進んだことなどから、機能性材料を除く各主要セグメントにおいて、営業利益が当初予想を下回り、全体においても各利益が下回りました。

通期の業績予想につきましては、印刷インキ事業において、原材料価格が高水準で推移すると見込まれるものの、海外を中心としたさらなる拡販や原材料費をはじめとしたコストの抑制に取り組むことに加え、第3四半期以降に販売価格の改定効果を織り込んだことなどから、売上高、各利益ともに、全体としては当初予想から変更はありません。なお、前提条件として、海外連結子会社の収益・費用の為替換算にあたって影響を受けやすいUSドルにつきましては、第3四半期以降は1ドル当たり112.00円、通期で110.00円(年間単純平均)としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,002	6,649
受取手形及び売掛金	45,098	46,071
商品及び製品	9,898	9,921
仕掛品	1,096	1,143
原材料及び貯蔵品	7,642	8,845
その他	2,856	3,244
貸倒引当金	△395	△422
流動資産合計	76,199	75,453
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,823	17,217
機械装置及び運搬具(純額)	9,472	10,334
土地	8,786	8,743
リース資産(純額)	619	687
建設仮勘定	918	1,145
その他(純額)	411	404
有形固定資産合計	37,032	38,533
無形固定資産	851	723
投資その他の資産		
投資有価証券	29,207	27,833
その他	2,662	3,283
貸倒引当金	△463	△444
投資その他の資産合計	31,405	30,671
固定資産合計	69,290	69,929
資産合計	145,489	145,382
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,332	19,542
電子記録債務	—	11,141
短期借入金	5,343	7,360
1年内返済予定の長期借入金	4,188	3,211
未払費用	3,623	3,034
未払法人税等	993	421
賞与引当金	647	641
その他	3,839	4,394
流動負債合計	47,968	49,746
固定負債		
長期借入金	6,157	5,813
退職給付に係る負債	5,026	4,938
資産除去債務	71	72
その他	7,499	7,188
固定負債合計	18,754	18,012
負債合計	66,723	67,758

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,472	7,472
資本剰余金	5,672	5,672
利益剰余金	65,638	67,222
自己株式	△4,046	△4,046
株主資本合計	74,737	76,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,957	4,026
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	△2,611	△4,277
退職給付に係る調整累計額	△1,434	△1,366
その他の包括利益累計額合計	912	△1,614
非支配株主持分	3,116	2,917
純資産合計	78,766	77,624
負債純資産合計	145,489	145,382

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)
売上高	77,272	78,938
売上原価	58,705	62,293
売上総利益	18,567	16,645
販売費及び一般管理費	14,009	13,964
営業利益	4,558	2,680
営業外収益		
受取利息	35	29
受取配当金	158	160
持分法による投資利益	863	826
その他	468	243
営業外収益合計	1,525	1,259
営業外費用		
支払利息	129	119
為替差損	—	212
その他	31	68
営業外費用合計	161	399
経常利益	5,923	3,540
特別利益		
投資有価証券売却益	1,117	—
受取保険金	—	185
特別利益合計	1,117	185
特別損失		
災害による損失	174	—
有形固定資産除却損	—	56
工場移転費用	71	—
特別損失合計	246	56
税金等調整前四半期純利益	6,794	3,669
法人税、住民税及び事業税	1,869	822
法人税等調整額	55	118
法人税等合計	1,924	941
四半期純利益	4,869	2,728
非支配株主に帰属する四半期純利益	239	118
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,630	2,609

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	4,869	2,728
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52	△874
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△899	△1,294
退職給付に係る調整額	73	63
持分法適用会社に対する持分相当額	△191	△516
その他の包括利益合計	△1,069	△2,621
四半期包括利益	3,800	106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,658	82
非支配株主に係る四半期包括利益	141	24

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,794	3,669
減価償却費	1,794	1,956
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	142	28
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	83	92
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10	△3
受取利息及び受取配当金	△194	△189
支払利息	129	119
持分法による投資損益 (△は益)	△863	△826
有形固定資産除却損	—	56
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,117	—
受取保険金	—	△185
災害による損失	174	—
工場移転費用	71	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△70	△1,625
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,739	△1,687
仕入債務の増減額 (△は減少)	△570	1,646
その他	△513	△789
小計	4,110	2,260
利息及び配当金の受取額	325	336
利息の支払額	△133	△125
保険金の受取額	—	53
助成金の受取額	50	—
法人税等の支払額	△1,624	△1,608
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,728	916
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,849	△3,083
有形固定資産の売却による収入	10	10
投資有価証券の取得による支出	△94	△178
投資有価証券の売却による収入	1,956	1
貸付けによる支出	△17	△128
貸付金の回収による収入	22	18
その他	△603	△189
投資活動によるキャッシュ・フロー	△575	△3,549
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	608	2,046
長期借入れによる収入	3,055	600
長期借入金の返済による支出	△4,517	△1,764
自己株式の取得による支出	△3,402	△0
配当金の支払額	△907	△934
非支配株主への配当金の支払額	△292	△223
その他	△150	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,606	△411
現金及び現金同等物に係る換算差額	△194	△241
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,647	△3,285
現金及び現金同等物の期首残高	9,297	9,351
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,649	6,065

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年1月1日至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (北米)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	27,281	14,494	21,004	4,381	5,324	72,486	4,786	77,272	—	77,272
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13	30	692	15	49	802	2,940	3,743	△3,743	—
計	27,294	14,525	21,697	4,397	5,373	73,288	7,727	81,016	△3,743	77,272
セグメント利益	1,210	1,111	1,010	142	598	4,073	186	4,259	298	4,558

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額298百万円には、セグメント間取引消去400百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△101百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役員提供費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (北米)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	26,410	15,427	21,351	4,609	5,941	73,740	5,197	78,938	—	78,938
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	71	762	47	45	939	2,908	3,848	△3,848	—
計	26,422	15,499	22,114	4,656	5,987	74,680	8,106	82,786	△3,848	78,938
セグメント利益又は 損失(△)	356	699	625	△215	702	2,168	176	2,344	335	2,680

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額335百万円には、セグメント間取引消去438百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△103百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役員提供費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

3. その他

主要な設備の計画

2018年6月30日現在

会社名	事業所名 (所在地)	セグメントの名称	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着手及び完了予定	
				総額	既支払額		着手	完了
INX International Ink Co.	ウエストシカゴ (ILLINOIS, U. S. A.)	印刷インキ (北米) 及び機能性材料	研究設備	千US\$ 6,500	千US\$ 645	自己資金 及び 借入金	2018年 4月	2018年 12月
MAOMING SAKATA INX CO., LTD.	茂名第二工場 (中国広東省)	印刷インキ (アジア)	製造設備	百万元 145	百万元 32	自己資金 及び 借入金	2018年 8月	2019年 9月

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. INX International Ink Co.における計画は、研究設備のため生産能力の増加はありません。

3. MAOMING SAKATA INX CO., LTD.における完成後の生産能力については合理的な算出が困難なため、記載を省略しております。